

アスパークだより

No.422 9月1日発行

廣川 優香

9月9日は「救急の日」

なぜ「救急の日」なの？って思う方いますよね？それは「9（きゅう）9（きゅう）」という語呂合わせから来ているんですよ！とは言うものの救急に関する知識や意識を高めるために、救急の日には何をしたらいいのでしょうか。その疑問に答えるために、救急についてもっと多くの人に知ってもらおうというのが、救急の日に行われるイベントです。

毎年9月9日当日を含む1週間を「救急医療週間」と定め、救急救命への理解を深めるためのイベントが各地で催されます。今年もまた全国各地で、救急救命活動についてのライブトーク、子どもへの簡単救命講習、心肺蘇生コンテストなど行われる予定です。過去には、「減らせ突然死プロジェクト」による心停止から生還した方のライブトークなどが行われ、日ごろあまり救急救命になじみのない人々にとっても救急救命について改めて考える機会を与えるイベントが行われました。

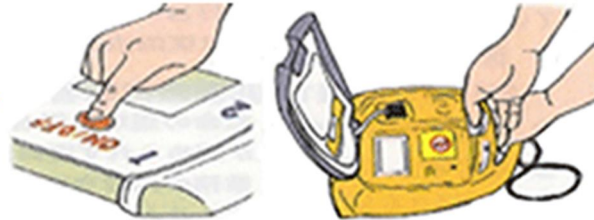
一般的に難しいと思われている救急救命の知識を、多くの団体や企業がこのようなイベントを通して人々にとって学びやすい環境を提供し、さらに特別な記憶として体験させ、救急救命の知識の普及になるように努めています。

次項で救命活動の例をご紹介しますので、参考にして下さい。

裏面へ

AED が到着

まず、電源を入れる。



ふたを開けると自動的に電源が入る機種もあります。

電極パッドを胸に貼る



電極パッドを貼る位置は電極パッドに書かれた絵のとおり、皮膚にしっかりと貼ります。体が汗などで濡れていたら、タオル等で拭き取ってください。



※おおよそ6歳ぐらまでは、小児用電極パッドを貼ります。小児用の電極パッドがなければ、成人用の電極パッドを代用します。

電気ショックの必要性

はAEDが判断する

離れて下さい。



心電図解析中は、傷病者に触れてはいけません。

ショックボタンを押す

誰も傷病者に触れていないことを確認したら、点滅しているショックボタンを押します。



ショックボタン



以後は、AEDの音声メッセージに従います。

心肺蘇生とAEDの手順は、救急隊に引き継ぐか、何らかの応答や目的のあるしぐさ(例えば、嫌がるなどの体動)が出現したり、普段通りの呼吸が出現するまで続けます。